

第12回地域づくり政策セミナー

(一社)九州地域づくり協会では、令和8年1月13日(火)、「ローカルプレイヤーによる地域づくり～多様な人々が幸せを感じながら活躍できる社会～」をテーマとして第12回地域づくり政策セミナーを開催しました。

当セミナーでは、多様な人々が地域社会の中で居場所を持ち、これまで培った歴史、文化等を次世代に引き継ぎ、幸せを感じながら活躍できる社会を目指す「ローカルプレイヤー」と「地域力」についての知見を頂きました。

当日は、受講者150名(会場86名、Web64名)の心に響く、大変すばらしいセミナーとなりました。

主催挨拶



(一社)九州地域づくり協会
理事長 田中 慎一郎

来賓挨拶



九州地方整備局
副局長 川埜 亮 氏

基調講演



(一社)九州のムラ
代表理事 養父 信夫 氏

担い手の柱は半農半X。
地域再生の鍵は企業誘致ではなく起業者誘致！



九州地方整備局
九州圏広域地方計画推進室
総括副室長 伊藤 浩和 氏

九州圏域の強みを活かした交流・連携プロジェクト等を「新たな九州圏広域地方計画」で創出。



九州工業大学 工学研究院
教授 吉武 哲信 氏

今、地方不利性の転換チャンス！
ゼブラ企業による公共性と収益性の両立や「地域の力」により地域課題解決。

事例発表

ばあちゃんたち高齢者の可能性を日本中に示す！



うきはの宝(株)
代表取締役 大熊 充 氏

「おばあちゃん」が仕事の報酬を得ることで生きがいとなり、健康長寿の重要な要素になる！
高齢者が働くことは悪ではなく、地域にとってプラスになる。



毎月発行している「おばあちゃん新聞」

守るから繋ぐへ



(株)なかの家
取締役 和田 梢 氏

地域の伝統食文化継承のため、労働環境の再設計、技術・工程の標準化、販売路線に転換。
経営理念は「老若男女と稼ぐ」こと！



地域伝統の手作り酒まんじゅう

小さな町の生き残り戦略



(株)まちの灯台阿久根
代表取締役 石川 秀和 氏

営利事業(稼ぐ)と行政連携の地域人材育成により、地域活動を支える非営利事業(育てる)を一体運営。
「チャレンジする人の存在」とその挑戦を肯定する環境が必要！



継業した鮮魚店

パネルディスカッション

～ローカルプレイヤーによる地域づくり～

コーディネーター



(株) YOUI
代表取締役 原口 唯 氏

パネルディスカッションでは、(株)YOUIの原口氏がコーディネーターを務め、コメンテーターに基調講演登壇者の吉武氏、養父氏、パネリストとして事例発表登壇者の大熊氏、和田氏、石川氏が参加された。

原口氏の絶妙かつ的確なコーディネートにより、各登壇者の思いや考えを十分に引き出していただき、ローカルプレイヤーとして活動するための多くのヒントを得ることができました。

パネリスト



左から石川氏、和田氏、大熊氏

コーディネーターとコメンテーター



左から原口氏、吉武氏、養父氏

○なぜその地域で活動するのか

- 大熊氏：ふるさとへの強い思い
- 和田氏：家族の思いを継ぐという決意
- 石川氏：その土地の人柄に惹かれた

○人を巻き込んで活躍するための工夫

- 大熊氏：「おばあちゃんと働く」というコンセプトで共感を得て、社会に他人事ではないと問題提起し、自分から発信するためには自分自身が変化すること。
- 和田氏：行政や地域とぶつかっても代替案を提示すること。
- 石川氏：対立するのではなく対話をする事で信用を築くこと。

○ローカルプレイヤーを増やすために必要なこと

- 大熊氏：地域を良くしたいと背負い過ぎずに、地域の誰を良くしたいのか対象者に集中すること。
- 和田氏：地域のリーダー的な人を味方にする事。誰が言うかで地域での影響力が違って来る。
- 石川氏：楽しみながら課題に向き合ってくれる若い人を見つけ、良い状態で次の世代へ繋げること。



「地域に暮らす人の思い」、「人と人との繋がり」、「次の世代にバトンを渡す覚悟」が地域づくりを動かす！

最後に、各パネリストより、以下の有意義なメッセージをいただきました。

- ◇大熊氏：失敗を許容する社会が必要。成功は失敗の上に成り立っている。
- ◇和田氏：出来る・出来ないではなく、やる・やらないが大事。まずは、やることから始めてみる。
- ◇石川氏：若い人たちが活躍できるよう“根回し(キャリアのある太い根を切り、若い根が育つ場所を作ること)”が世代への役目。

受講者の皆さんからも「素晴らしい内容だった。」「次世代を担う若い人たちに是非聞いてほしい。」などの好評的なご感想をいただきました。

